

●事業コンセプト

事業コンセプト

「赤ちゃんから入場できるコンサート」

「いさのおんがくたい」とは？

この企画は、日ごろ、家事や育児などでクラシックコンサートに出かけることができないという若いお父さんや、お母さん、赤ちゃんからお年寄りのみなさんを対象に、身近にあるホールで、気軽に音楽を聴く機会を創出することによって、『演奏をとおして、楽器の持つ「生の音」のよさを体感(冒険)できるように』と、地元在住の演奏者たちが中心になって、2010年に立ち上げました。

主コンセプトは、「赤ちゃんから入場できるコンサート」です。

一般にコンサートというと大きな空間(ホール)で、いろいろな照明や音響があってという大々的なものを想像されると思います。この企画は、照明も音響も最低限で、空間も200人くらいが入る小ホールがメイン会場です。基本は楽器のもつ生の音とホールのもつ響きですから、聴衆は演奏者をもっと身近に感じることができます。

それぞれのコンサートは、演奏者みずからが、企画・構成し、個性と発想と表現力を最大限に生かし出演します。楽器体験等の聴衆参加のコーナーを取り入れたり、聴衆とやりとりを取り入れたり、既成の形式・概念にとらわれず、演奏者が演奏したい曲を中心にして、自由にプログラムを組み立てることができるのも大きな特長です。

聴衆であるお客様には、身近にあるホールで、「目の前で演奏される生の音を聴き、身近な場所で感動を享受する楽しさ」を、一緒に味わっていただきたいと考えています。

この企画を通じて、演奏者(出演者)も、聴衆も、一緒になって楽しめるコンサートを目指します。

※本事業は、文化芸術基本法(平成29年6月23日法律第713号)の制定趣旨に即して企画・運営しています。2020年1月末時点での観客動員数延べ9,634名(123公演、内小学生以下3,435名)を超えるコンサートとなりました。2019年度においては、21公演(内、ホールコンサート10回(ミニコンサートを含む。)、アウトリーチ・コンサート11回)を実施中です。



毎回、このイラストの表紙でプログラムを作成しています。



「いさのおんがくたい 2020」 出演者募集要項

- ① 出演者は、主に伊佐市、伊佐市周辺及び鹿児島県内で演奏活動に取り組む個人又は団体とします。
- ② プロ・アマは問いません。
- ③ 公演日は、2020年6月1日から2021年3月10日までの土・日・祝祭日とします。
- ④ 日程は、演奏者の希望をあらかじめ伺い、ホールの空き状況等を踏まえて、相互に調整して決定します。
- ⑤ 出演時間は、ミニ・コンサートはおおむね1時間以内、参加型ワークショップは2時間以内とします。
- ⑥ 演奏形態は、ソロ・アンサンブルを問いません。ただし、高校生以下の演奏者のみを中心となる場合は、あらかじめご相談ください。
- ⑦ 楽器使用の場合は、原則アコースティックとし、歌唱の場合は、生声とします。
- ⑧ 当日のプログラム案・会場設営案について、演奏者が直接ホール、会場を確認の上、構成してください。
- ⑨ 会場は、原則、伊佐市文化会館小ホールを使用します。他の会場を希望される場合は、事前の打合せ時にご相談ください。(演奏の形態によっては、大ホール舞台上を使用することもあります。)
- ⑩ 使用する楽器等の機材は、グランドピアノを除き、持ち込みとします。搬入・搬出は出演者の責任で行なってください。
- ⑪ 会館備付のピアノは以下の2台です。

種類	メーカー	番号	全長
グランドピアノ	ヤマハ	品番:CF 製番:3360200	260 cm
グランドピアノ	ヤマハ	GIII 1813246 E	167 cm

- ⑩ 出演が決定しましたら、文書で通知します。
- ⑪ 出演決定後は、リハーサル・本番まで、演奏者と実行委員会が相互に打合をしながら、公演当日まで進めていきますので、ご協力ください。
- ⑫ チラシ、広報の内容等については、出演者と実行委員会で調整し、概ねコンサートの2ヶ月前までに決定します。リハーサル及び当日の準備等について、コンサートの1ヶ月前までに随時調整していきます。そのほか、申込、公演までの流れについては、概ね別紙のとおりです。

【費用等】

- ① 出演謝金はありません。
- ② ミニ・コンサートの入場料は原則無料で行っています。特に入場料を設定されたい場合は、あらかじめご相談ください。
- ③ 出演料は不要です。

- ④ 文化会館の公演及びリハーサル時の会場使用料、備品等使用料は免除されます。その他の経費(飲食等)は出演者の負担でお願いします。なお、練習に伴う施設使用料等は、免除対象とはなりませんので、ご注意ください。
- ⑤ 著作権許諾に関する手続きは実行委員会で行います。著作権許諾が発生する曲目、プログラム等は、公演の約1ヶ月前までにお知らせください。

【申込方法】

別紙出演申込書を記入のうえ、期日までに、郵送、持参、電子メール又はFAXで、伊佐市社会教育課 文化芸術係へ提出してください。

【申込書送付先】〒895-2701 伊佐市菱刈前目 2106 番地 伊佐市役所菱刈庁舎 社会教育課

電話番号 0995-26-1554(直通)

FAX 番号 0995-26-1055

メール bunka@city.isa.lg.jp

【募集に関するお問い合わせ】 いさのおんがくたい実行委員会 担当 瀬崎

電話番号 080-1720-3371

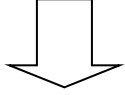
メール isano.ongakutai@gmail.com

【※切について】

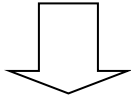
締切 2020年4月20日(月) 必着

公演申込から終了までの流れ

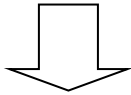
出演申込み
(〆切 4/20)



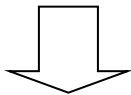
出演決定通知書等が届く
(5月中旬を予定)



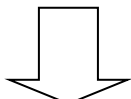
公演2カ月前まで
広報用チラシ原稿(出演者からのメッセージ・主な演奏予定曲)の提出



公演10日前まで
プログラム原稿の提出



公 演 当 日



公演終了後2週間まで
報告書用コメントの送付
(出演者の感想など)

「いさのおんがくたい出演申込書」に必要事項を記入して、申込期限までに、伊佐市社会教育課 文化芸術係へ提出してください(FAX、メール、持参可能)。

◇ 希望の日時を第3希望まで記入してください。

事務局から、出演決定通知書、今後のスケジュール、チラシ案等を送付します。

広報用のちらしに掲載する出演者からのメッセージ(100字程度)、主な演奏予定曲(4~5曲)の原稿を作成してください。

プログラム(B5サイズ見開き)原稿の作成をしてください。

◇ 曲目は必須ですが、団体の自己紹介、歌詞等の掲載は、自由です。

◇ プログラムは白黒印刷です。

◇ ホールへの入り時刻をお知らせください。

公演の感想(200字程度)の原稿を作成してください。

実施報告書として、公演の画像・お客様の感想とともに伊佐市文化会館のパネルに掲示します。

「いさのおんがくたい」活動実績一覧表(2018年度以降分)

2020年1月現在

2020年1月末時点で延べ9,634名(123公演、内小学生以下3,435名)を超えるコンサートとなりました。2019年度においては、21公演(内、ホールコンサート10回(ミニコンサートを含む。)、アウトリーチ・コンサート11回)を実施中です。

(2018年度以降分のみ掲載)

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (内、小学生以下)
106	H30.6.3(日)	おんがくのたねまきコンサート(歌唱)	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	349人 (140人)
107	H30.8.4(日)	ミニコンサート (トランペット、ピアノ)	カナデルン 久木山 武尊(トランペット) 津曲 佳南美(ピアノ)	43人 (9人)
108	H30.9.2(日)	ミニコンサート (トランペット・フルート)	二反田耕治(トランペット) スイートネス 森田奈美(フルート) 寺岡公美(フルート)	61人 (4人)
109	H30.12.2(日)	ミニコンサート (歌&ピアノ)	原あいら、谷口和子(ソプラノ) 井手口希歩(ピアノ)	33人 (5人)
110	H30.12.16(日)	ミニコンサート (吹奏楽)	いさ吹奏楽団	117人 (17人)
111	H31.1.27(日)	ミニコンサート (ジャズ・ポップス)	Freed Fruit (フリード・フルーツ) 石堂 奈菜ほか	30人 (5人)
112	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 伊佐市文化会館	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	90人 (50人)
113	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	45人 (40人)
114	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	48人 (40人)
115	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	51人 (43人)
116	H31.3.2(日)	ミニコンサート (マリンバ、フルート、ピアノ)	マリンバデュオ パレット 橋野 清香 安田奈緒子ほか	36人 (2人)
117	R01.6.2(日)	おんがくのたねまきコンサート ホールコンサート 「開け! 音楽の扉!」 ピアノ、バイオリン、チェロ	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	210人 (80人)
118	R01.6.3(月)	アウトリーチ in 啓明園 ピアノ、バイオリン、チェロ	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	70人 (0人)

119	R01.6.3(月)	アウトリーチ in 針持小学校 ピアノ、バイオリン、チェロ	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	35人 (25人)
120	R01.8.17(土)	ミニコンサート 女声合唱、アカペラ、二重唱、独唱	Ooak(オーク)	35人 (9人)
121	R01.9.1(日)	ミニコンサート トランペット、ピアノ	久木山 武尊(トランペット) 津曲 佳南美(ピアノ)	55人 (3人)
122	R01.9.15(日)	ミニコンサート トランペット、フルート	二反田耕治(トランペット) スイートネス(フルートデュオ)	52人 (7人)
123	R01.12.15(日)	ミニコンサート 吹奏楽	いさ吹奏楽団	146人 (29人)

(アンケートから)

ご来場いただきましたお客様から寄せられたアンケートから、一部をご紹介します。

(原文のまま表記しました。)

- ◇ 演奏されてる方々の笑顔、演奏とても素敵でした。工夫されているコンサートはあっという間の時間で楽しかったです。(50代)
- ◇ 珍しいコンサートに出会えてよかったです！！トークも面白くて、楽しかったです。今日はこの会場にこれて、ラッキーでした。素晴らしい音楽をありがとうございました！！(10代 男の子)
- ◇ 選曲(チラシに書かれていた曲目)を見て、ぜひ聴きたいと思い足を運びました。クラシックから、このシーズンに合った曲まで、素晴らしい曲ばかりで聴いていてジーンときてしまいました。素敵な歌声をありがとうございました(40代 女性)
- ◇ 聴いたことがある曲が多くて楽しめました。市内や遠くまで出かけなくても聴ける生の演奏はとてもありがたいです。学生さんからいろんな年齢の楽団員さんですが、大変聴きやすくストレス解消になりました。ありがとうございました。(50代 女性)
- ◇ 伊佐でこんな素敵な吹奏楽団があることに喜びをもっています。ありがとうございました。来年も楽しみに参加しますね。(60代 女性)

(演奏者から) 出演者からのコメントをご紹介します。

いさのおんがくたい初参加でした。自分たちも1時間のステージは、久しぶりでしたが、「歌の魅力をお伝えする！」をイメージして、練習に励んできました。今回、発表する機会をいただき本当に感謝しております。

アンケートでは、歌声を褒めていただいているコメントも多くて、嬉しいし、幸せな気持ちになりました。伊佐市は、音楽愛好家の方が多い街なんだと新たに知ることができ、有意義なステージでした。

P.S. 合唱団O∞k(オーク)は、福祉施設等へボランティアで歌声をお届けする活動を行っております。興味のある方は、お気軽にお声かけください。

令和元年8月17日(土) O∞k

住民手づくり「いさのおんがきたい」



「いさのおんがきたい」に出演し、息の合った音楽を奏でる「いさ吹奏楽団」
=2019年12月、伊佐市文化会館

演奏会10年 1万人満喫

伊佐市文化会館を拠点に、赤ちゃんから入場できるコンサートを開く「いさのおんがきたい」が活動丸10年を迎える。原則毎月1回開く手づくりの無料演奏会は、延べ1万人を動員。演奏者も聴衆も一緒に楽しむ「音楽の種」を根付かせている。

乳幼児もOK 出演者は公募

同会館は、市民の利
用が少ないのが課題だ
った。施設を有効活
用し、演奏家には発
表の場、聴衆には生
音楽に触れてもら
う場をつくらうと201
0年4月、住民主導の
実行委員会が発足し
た。
メンバーは主婦や会
社員ら8人。毎月のコ
ンサートは市の支援を
受け、市内外から出演
者を公募する。乳幼児
の入場を禁止する演奏
会も多いが、「地方ら
しく気軽に」と制限を
設けていない。発足時
から携わる市職員、瀬
崎広文さん(44)は「子
育て中の親こそ、音楽
で気晴らししてほし
い」と話す。
昨年12月は1万3回
目のコンサートがあ
り、いさ吹奏楽団(30
人)が出演した。子ど
もたちに人気の「パプ
リカ」や、高齢者向け
の演歌メドレーなど迫
力ある生演奏を響かせ
た。フテン音楽では「テ
キーラ」の掛け声が飛
び、ステージと160
人の客席が一体となっ
て盛り上がった。
毎回訪れるという同

市菱刈前目、無職茅原
眞理子さん(69)は「曲
に合わせて自然に体が
動く。音楽は幸せを与
えてくれる」と目を細
めて。終了後は団員が
ロビーに並び、観客と
言葉を交わした。
瀬崎さんは「市民が
支えてくれるコンサ
ート。ホールを身近に感
じてもらえるように、
背伸びをせずに続けて
いきたい」と話した。
25日は地元的女性音
楽グループ「いさおこ
じよ」が出演する。
(浦牛原健)